



史跡から出土した木製冑



発掘された木製天板を基に復元した琴

# 史跡・徳丹城跡が国指定50年を迎えます

町の国指定史跡「徳丹城跡」は8月5日、昭和44年に指定されてから50年の節目を迎えます。

これまでの発掘調査で、城柵全体の様相が徐々に解明されてきました。従来、徳丹城は水害を被った志波城を急ぎよ移した城柵、または征夷政策の中で南退させた城柵という見方がありました。これまでの調査、研究により、志波城のような威圧的ではなく、コンパクトで機能的な城柵として造営されたことが分かってきました。38年間におよぶ蝦夷との戦争終了後の治世の象徴として、役割を果たしました。

また、史跡からは木製冑をはじめ、貴重な遺物も出土しており、史跡に隣接する町歴史民俗資料館に展示しています。

国指定50周年の記念の年にぜひ、皆さんで国の重要な遺跡である徳丹城跡を訪れ、歴史の息吹を感じてください。

※国指定史跡とは…日本の歴史を語る上で、欠くことのできない遺跡であると認められ、保護していく必要がある史跡について、国が指定します。

▼問い合わせ 町教育委員会 社会教育課文化財係(☎611-2860)

## 徳丹城とは

9世紀前葉、征夷将軍・文室綿麻呂により現在の徳田地区に築城されました。志波城に替わる城柵として造営された「律令国家最後の城柵」です。

## 構造

外郭、中央部の内郭（政庁）の2重構造で、外郭はほぼ正方形で一辺が約356m。内郭は正方形で、一辺が約76mです。

## 調査

昭和22年から行われている発掘調査では、木製冑や琴天板、別将銘墨書土器など国の歴史上、重要な遺物が出土しています。





史跡内の徳丹城跡公園



史跡内に設置されたプランター

## 史跡公園内にプランターを設置

徳丹城西辺外郭にあった木柵列に合わせて、マリーゴールドとサルビアを植えたプランター96個を設置しました。プランターから東側（左写真奥）が当時の徳丹城内になります。

プランターはロックヒルズ(株)から提供され、花植えは徳丹クラブが行いました。赤や黄の鮮やかな花々が、国指定50年の節目を迎えた史跡に彩りを加えています。

花は10月頃まで楽しめますので、城柵が造られた当時の様子に思いをはせながら、徳丹城を散策してみませんか。

## 国指定50周年記念イベント

### 徳丹城<sup>あか</sup>夢灯りとナイトミュージアム

夢灯りを点灯し、史跡内を幻想的な空気で包みます。また、町歴史民俗資料館を夜間、特別に開館します。

●日時 8月14日(水)～17日(土)の4日間、午後6時30分～午後8時（夢灯りは雨天中止）

●場所 徳丹城跡公園、町歴史民俗資料館

### 企画展「新説徳丹城展」

これまで行われてきた発掘調査を基に、新たに分かってきた徳丹城の特徴を紹介します。

●期間 9月21日(土)～11月4日(月・祝)

●場所 町歴史民俗資料館

### 「徳丹城を語る」討論会

有識者が、これまでの調査結果を踏まえて、徳丹城の歴史的価値、魅力を感じている部分などを語り合います。

●開催日 12月1日(日)

※各行事の詳細は開催直前の広報紙でお知らせします。



夢灯りライトアップ